



飯田市立病院ニュース

飯田市立病院・高松分院広報

編集・発行／飯田市立病院広報編集委員会 〒395-8502 長野県飯田市八幡町438番地
TEL●飯田(0265)21-1255(代) FAX●飯田(0265)21-1266 http://www.imh.jp.

年頭所感

飯田市立病院長

宮川 信



新年明けましておめでとうございます。平成16年として新たな年を迎えるにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

昨年は、イラク復興支援特別措置法に基づく自衛隊派遣をめぐる問題に代表されるように、世界の安全や国際協力に果たす、日本の位置付けや役割を再認識する年であったと感じています。

混沌とする世界情勢と変わらぬ不況のもと、われわれの生活の基盤となる社会保障費に対する環境も、財源の不足などから厳しさを増す一方ですが、地域の皆様に對する当院の役割や責任を再確認するため、あら

ためて病院の機能を検証し、年頭の所感としたいと思います。

飯田市立病院は「住民に信頼され、満足される病院」を基本理念として、施設の整備を図るとともに、スタッフの教育、そして患者さんへのインフォームドコンセント、アカウンタビリティ、安全な医療を重点におき、よりよい病院づくりを進めています。

当院は地域に望まれる病院像として、高度医療、救急医療を中心とした急性期医療に對応できる体制、設備を整えてまいりました。

具体的には、救急ベッド9床、夜間も飛行できるヘリポートを完備し、夜間体制として内科系2名、外科系2名、小児科1名の当直医師体制のもとに、ICU、CCU、NICU、地域周産期母子医療センター、災害拠点病院、エイズ治療拠点病院などの内容で運営しています。

更に、臨床研修病院として教育システムを構築し、学会、院内研究会での発表

はもとより、論文作成を各部署に課して、飯田市立病院医誌に記録させています。

患者さまのサービスの向上についても、実践的な手法であるQCサークル活動の手法により、患者さまへの説明能力の向上や、プライバシーの保護といった部分にも力を入れて取り組んでいます。

また、本年2月には「電子カルテ」に移行し、EBMに基づいた良質な医療を更に進めながら、地域の医療機関との情報の共有や院内の透明性を高める努力をいたします。これにより、本年は「地域医療支援病院」の承認を目指す予定です。

飯田市立病院は、今後も自治体病院としての公共性と、更には企業性にも配慮した病院づくりを進め、その使命を果たしたいと考えております。



お知らせ

- 外来受診患者さまの駐車場スペース確保のために
- 施設整備などに関するお知らせ

話題の広場より

- QC活動によりサービスの向上と安全な医療提供を

(外来駐車場をゲート化しました)



お知らせ 病院のうごき

病院駐車場の一部を

ゲート化しました

皆様方のご理解とご協力を
お願いいたします

病院にとって駐車場は、他の医療施設や機器類と同様に大切な設備の一つです。

当院では、外来受診の方の駐車スペースをきちんと確保し、利便性の向上を図る目的から、正面の北駐車場及び南駐車場を専用駐車場としてゲート化しました。

外来受診の方の駐車料金は無料となっておりますが、それ以外の方が、1時間以上駐車した場合は有料とさせていただきます。

皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

関連する案内は別添に掲載しました。

【庶務課施設担当】



設置されたゲート（上）
と出口の精算機（下）



本年度中に実施される 主な整備事業

○ 研修医研修棟整備の基本設計

本年4月から臨床研修が必修化される中、臨床研修指定病院の当院においても、平成16年度には1年次の研修医8名、17年度には1年次、2年次の研修医を併せて16名の受入を予定することとなります。

これに伴い、必用な研修棟の増築と管理部門の改修を併せて行うこととなります。平成15年度中には基本設計を完了し、16年度の事業着手により、新しい制度に対応できる施設の充実を図ります。

また、これと同時に病院のオープン化に対応できる整備にも取り組めます。

○ 血管造影装置の更新

人体に栄養分や酸素を与える働きをする血液の流れである血管を写し出す検査装置の年度内更新を予定しています。

登録医制度に基づく

受付件数は順調に推移

当院では地域医療支援病院の承認を目標に、病院のオープン化と登録医制度の運用を目指しています。

関係する先生方のご理解により、12月1日現在で対象医療機関の9割以上のお届けをいただいております。今回の受付により、今後は病院のオープン化による病床の共同利用などが可能となつてきます。

この制度が運用されるようになると、患者さまが、当院入院中にホームドクターの先生の指導を受けたり、退

院後の療養などの相談もできるようになります。

【地域医療部】

臨床研修医の確保

(マッチング)

本年4月より研修医に対する新しい研修システムが始まりますが、その研修病院と研修医のマッチング結果が昨年11月13日に確定されました。その結果、医師臨床研修マッチング協議会と厚生労働省は、組み合わせが決まった割合(マッチ率)が95.6%であったと発表しました。

飯田市立病院も独自に4名の研修医を募集しましたが、マッチングにより4名(100%)決まりました。一方、信大からのタスキがけの研修医を4名応募していますが、信大のマッチ率は90名中48名(53.3%)となっています。

【千賀 脩】

研修医マッチングシステムとは

研修医マッチング(組み合わせ決定)とは、医師免許を得て臨床研修を受けようとする者(研修希望者)と、臨床研修を行う病院(研修病院)の研修プログラムとを研修希望者及び研修病院の希望を踏まえて、一定の規則に従って、コンピュータにより組み合わせを決定するシステムです。



尊いご寄附が寄せられました

市内鼎上山の三浦修さんから、研究や研修などに役立ててほしいと、50万円の尊いご寄附が寄せられました。三浦さんの奥さんは、当病院で長いこと闘病生活を送られましたが、昨年10月お亡くなりになり、その直後、ご本人の生前の希望をかなえたいと、寄附の申し出がありました。

この日、三浦さんは体調を崩されていたため、義理の兄弟にあたる片桐司郎さんが病院を訪れ、ご遺志と現金を院長に伝達されました。私たちは、このお気持ちを大切に受け止め、日々の業務に励んで参りたいと思います。

【事務局長】

話題の広場



特集

QC活動への取り組み

現在取組んでいる 主な内容

サービスの向上と安全な医療提供のために

飯田市立病院では、地域に信頼される病院づくりのために、当地域の病院としては初めてとなる、QCサークル活動（製造業等における品質管理）の手法を取り入れてサービスの改善などを進めています。現在では10団体を超えるサークルが組織されています。

具体的には、目標を持った小さな集団を作り、それ

QCサークル活動の 基本理念

- 人間の能力を發揮し無限の可能性を引き出す
- 人間性を尊重して生きがいのある明るい職場をつくる
- 企業の体質改善・発展に寄与する

ぞれのテーマ（目標）に向かって実践を行うものですが、目標達成のために自ら評価を行い、修正し、新たな改善をするという手法により、更に質の高い結果を目指すものです。

この手法は、サービスだけにとどまらず、病院における医療事故防止や感染症対策などのレベルアップに向けて、幅広い分野での活用が期待されています。

また、皆様に安心して受診いただくために病院を健全に経営して行くことも非常に大切な要素ですが、このような場合にもこのQC活動による改善手法を取り入れる予定です。

などです

【庶務課】

- 患者さまへの安心感や快適な環境作りのために（身だしなみや、病棟での騒音減少策）
- 薬剤や検査に関する事項（快適に正しい検査を受けていただくための方策など）
- リハビリテーションに関連する事項や、患者さまの立場での「おいしい」食事提供のために
- 医療費の未納を少なくするための事務改善
- ごみの分別や、裏紙の再利用の方策

高松ギャラリー = 高松分院 =

高松ギャラリーは、地域との交流の場をめざして始めました。地域の方から心のこもった手作り作品をお借りし、毎月皆様に展示品を楽しんでいただけるよう工夫しています。是非一度お立ち寄り下さい。出展者も募集中です。



屋根下駐車場の利用には
事前の許可が必要です

正面玄関左側の屋根
下駐車スペースは「車
イス使用者専用駐車場」
となっております。

この駐車場の利用にあ
っては、事前の許可が必要
となります。希望される方
は、庶務課施設担当までご
相談ください。

【庶務課施設担当】



シリーズ

患者会 その5



オストメイトの会
「あすなろ会」の活動

新井 弘司

私たち「あすなろ会」は平成7年9月に会員数22名で飯田市立病院外科の医師、看護師のご指導を得て発足しました。

この会はストーマの造設患者の会で現在の会員数は41名ですが、男性が65%で中高年齢の人が多く会員数は伸び悩んでいます。

主な活動としては、講演会や座談会の開催、専門家によるストーマ装具の紹介や取扱指導、会員の親睦とレクリエーション、この他に関連する各種の情報提供をおこなっています。

最近の事業の方向としては、オストメイトの厳しい生活環境に対応するための事業として、身体障害者の明るく頑張る生活体験講演や「ガン・人工肛門からの出発／日本三百名山単独踏破の体験談」の配布など、毎日を明るく前向きに生きられるように元気づけることができる事業を多く取り入れたいと進めております。

これからも、共通の問題点を持つ仲間が病院の顧問の医師や看護師を信頼して、共に励まし合って頑張る為に「あすなろ会」の使命は大きいと思います。



【ストーマの製品展示と取扱相談会】

知って安心 介護保険のポイント②

介護保険制度の趣旨は、

高齢者が寝たきりや痴呆になったので利用するといっただけのものではなく、そうした状態になるのを予防する目的も含まれています。高齢者が転倒をして状態が重度化するのを防ぐには危険の少ない住宅に生活することが大切です。そのための手すりの設置や段差解消目的のスロープ化工事費用などは介護保険の住宅改修費の支給対象となります。支給額は上限額内で（20万円）9割相当額が保険給付分として、住宅改修が終了したあと支給されます。残りの1割は利用者負担です。工事を始める前は必ず、ケ

アマネージャーに相談してください。お問合せは飯田市立病院在宅ケアステーションまで。
【在宅ケアステーション】

新任医師の紹介

平成15年10月～12月



内科
やまうら たかひろ
山浦 高裕
平成6年卒業
平成15年10月1日着任
前勤務病院：
昭和伊南総合病院



耳鼻咽喉科
はらだ だいすけ
原田 大輔
平成14年卒業
平成15年10月1日着任
前勤務病院：
信州大学医学部附属病院



歯科口腔外科
いじま まさゆき
飯島 馨
平成13年卒業
平成15年10月1日着任
前勤務病院：
信州大学医学部附属病院

編集後記

2月から電子カルテの導入、4月から研修医の研修開始と、今年も市立病院としての使命を果たすべく、新たな取り組みが始まります。これからも、市立病院の動向を暖かく見守っていただきたいと思います。皆様のご健康を祈りつつ。

【編集委員会 波多野久昭】

